

# 緑のセンターだより

公益財団法人 旭川市公園緑地協会 旭川市緑のセンター(相談所)

〒078-8327 旭川市神楽岡公園内 Tel 0166-65-5553 Fax 0166-65-5626

旭川市公園緑地協会ホームページ <http://www.asahikawa-park.or.jp>



No.173

発行:平成30年8月1日

## 講習会のご案内 (お申込み・受付は前月の20日から)

### 「神楽岡公園-夏の自然観察会」

とき 平成30年8月19日(日)  
午後1:30~3:30 定員各20名  
講師 旭川みどり21の会代表 成田一芳さん



### 「ハーブの寄せ植え」教材費¥1,500

とき 平成30年8月26日(日)  
午後1:00~3:00 定員20名  
講師 緑のセンター相談員



### 「ヒオウと秋植え球根の寄せ植え」

とき 平成30年10月7日(日)教材費¥1,000  
午後1:30~3:30 定員20名  
講師 緑のセンター相談員



### 「庭木の冬囲いを覚えよう」

とき 平成30年10月14日(日)  
午後1:30~3:30 定員20名  
講師 緑のセンター相談員



### 【連続講座 第2回目】

「プランターで育てる四季成り風イチゴ栽培」

8月18日(土)13:30~15:30

「はまぼうふうを栽培してみよう」

9月22日(土)13:30~15:30

講師 緑のセンター相談員



### 【連続講座 第2・第3回目】

「春の夕刊つゆと夏に絆ゆを楽しむ講座」

8月5日(日)13:30~15:30

9月23日(日)13:30~15:30

講師 緑のセンター相談員



青空ヨガ 午前11時から



### 【緑のセンターまつり2018】8月11日(土・祝)10時~16時 緑のセンター・神楽岡公園

- ・「ブルーベリーの苗木を抽選でプレゼント」
- ・イベント…フラワービンゴゲーム、親子もちつき大会、神楽岡太鼓、よさこいソーラン  
青空寄せ植え体験教室、無料押し花体験
- ・花と緑の相談コーナー、農産物市、園芸市、納涼ビアガーデン(生ビール、焼き鳥)
- ・緑日コーナー…綿あめ、ポップコーン、ふうせん、ヨーヨー釣り!!(お子さま)
- ・花と緑の展示会(館内)…ミニ盆栽、山野草、盆景旭川愛好会、押し花(販売あり)



## 展示会のご案内 (初日は午後から、最終日は4時まで)

「押し花展」8月4日(土)~8月26日(日)



### \*くつろぎカフェ\*

♥ ハーブティーの効用などについて ♥

講師:ハーブティーセラピスト 建部久美子さん

日時:8月23日(木)~26日(日)

時間:午後1:00~午後3:00

\*各種ハーブティー 1杯 100円

日常生活に大活躍なハーブで~す!!



### 【休館日のお知らせ】

4月~10月は第2・第4月曜日が休館日(祝日の場合は翌日)

11月~3月は毎週月曜日が休館日 ( " )

# 〈園芸の基礎知識〉 植物の花成と開花

## ～ 日長に対する反応 ～

### ■植物は寒さ、暑さの訪れを前もって知っています

秋に花咲く植物は寒さに弱く、多くの植物は、冬の寒い期間を種子で過ごすために、秋にツボミをつくって花を咲かせ、種子をつくるのです。また、夏の暑さに弱い植物は、夏の暑い期間を種子で過ごすために、春に花を咲かせ、種子をつくるのです。ということは、「秋に花咲く植物は、秋の間に、もうすぐ寒くなることを前もって知っている」こととなります。また、「春に花咲く植物は、春の間に、もうすぐ暑くなることを前もって知っている」こととなります。

### ■植物は、葉っぱで昼と夜の長さを計ります

秋に花を咲かせる植物が寒さの訪れを、昼の長さは日長といいますが、北半球の場合、夏至の日を過ぎて、だんだんと短くなることにより知ります。夜の長さは、6月下旬の夏至の日を過ぎて、だんだんと長くなります日長が最も短くなり、夜の長さが最も長くなるのは、冬至の日です。これは、12月下旬です。それに対し、冬の寒さが最も厳しいのは2月ごろです。昼と夜の長さの変化は、寒さの訪れより、約2カ月先行しています。春に花を咲かせる植物の場合も、暑さの訪れを、約2カ月、前もって知ります。12月下旬の冬至を過ぎると、日長はだんだん長くなり、夜がだんだん短くなります。そして、最も短いのは、夏至の日です。この日は、6月下旬です。それに対し、最も暑くなるのは8月ごろです。ですから、植物は昼と夜の長さを計ることによって、暑さの訪れを約2カ月前に知ることができるのです。

### ■光周性

植物は、昼と夜の長さを計って、ツボミをつくり、花を咲かせます。植物が昼と夜の長さに反応する性質は、光周性といえます。光周性は、(1)昼が短い条件下で花芽形成が誘導される短日植物と、(2)昼が長い条件が花芽形成に好適な長日植物の2つのタイプに分けられます。光周性の影響を受けず、日長が花芽形成に影響しないものは中性植物と呼ばれます。

(参考資料:ソフトバンククリエイティブ「植物学」超入門、「花のふしぎ100」、農山漁村文化協会「最新農業技術事典」ほか)

## 緑の相談 QアンドA (47)

8月上旬に、河川敷地(堤防)に咲いていた、白い小花がたくさん集まって一つの花のように咲く草花です。ニンジンの花に似ていますが、名前がわかりませんので教えてください。



ホワイトレースフラワー

ご相談の花はセリ科の植物だと思います。詳しい内容などわかりませんが、該当する植物は何種類か考えられますので、ここでは可能性の高い2種類を説明します。



ノラニンジン

【ホワイトレースフラワー】和名を「ドクゼリモドキ」と凄くいかめしい名前ですが花に毒性はありません。原産は地中海で草丈80cm程度になる1年草です。一般に切り花として花屋さんの店先で売られているものと同じです。道内では、道端や河川敷地で野生化しているケースもあります。「ノラニンジン」より花房が大きく花房の間にすき間があり、花期も7～8月と少し早いです。

【ノラニンジン】ニンジン属の多年草で、ヨーロッパ原産の帰化植物です。草丈は40～100cmで、私たちが食用にしているニンジンの野生種・原種といわれていますが、根が細く食用にはなりません。花期は8～9月で道端や空き地などで生育しています。何れも可愛らしく清楚な花ですので見て楽しんでください。

(参考資料:北海道花・野菜技術センターHP、北大出版会「新北海道の花」、北海道HP「北海道ブルーリスト 2010」ほか)

# 植物の病害虫

## その44 「トマトサビダニ」



トマトの茎に群がるサビダニ



果実の被害症状



茎の被害症状

### 1 寄生しやすい植物

トマト、ミニトマト、ナス、ピーマン、パプリカ、シシトウ、ホウズキ、ジャガイモ、ペチュニアなどに寄生します。被害はあまり問題になりませんが、品質低下を招くおそれがあります。

### 2 被害

葉、茎、果実に被害が発生します。葉では裏側が褐変して光沢を帯び、裏側あるいは表側に巻き込みます。ひどくなると葉全体が褐変し枯死します。茎も被害部は褐変します。被害は下部から徐々に上部へと広がり、株が枯死することもあります。発生が多くなると、果実が発生し、果実の表面が灰褐色になり、細かい亀裂を生じます。

### 3 生態

施設栽培で発生が多く、露地栽培では発生が少ない傾向にあります。休眠しないため、主に施設内で越冬すると考えられます。温暖な地域では寄生植物があれば、露地でも越冬が可能と考えられています。卵から成虫までの発育期間は 25℃で6日～7日と短く、発生すると短期間で高密度になります。初期の発生は局所的ですが、管理作業等で回りの株に広がっていきます。なお、マルハナバチや天敵を利用するハウスでは、薬剤散布が少ないため、トマトサビダニが発生しやすくなります。

### 4 防除法

苗による持ち込みを阻止することが重要です。捕食性のダニなどが確認されていますが、現時点では有望な天敵はいません。発生を確認しましたら、早目に薬剤による防除を行います。

防除薬剤:レピメクチン乳剤「商品名 アニキ乳剤」2000倍、エマメクチン安息香酸塩乳剤「商品名 アファーム乳剤」2000倍、ミルベクチン乳剤「商品名 コロマイト乳剤」1500倍、脂肪酸グリセリド乳剤「商品名 サンクリスタル乳剤」300～600倍、他マッチ、マイトコーネ、ダニ太郎、モベント、モレスタン等があります。サンクリスタル乳剤は、トマト、ミニトマトのうどんこ病にも効果があり、農薬としてカウントされません。掲載されている農薬は2018年1月末現在登録のあるものから抜粋しています。

農薬の使用にあたっては必ずラベルを確認してください。



## 極楽鳥花(ストレリチア)を楽しむ

ゴクラクチョウ科 ストレリチア属

ストレリチアは、南アフリカ原産の植物で4種が知られています。その中で最も普及しているレギナエ種は花が熱帯の鳥の顔を思わせることから極楽鳥花の和名で親しまれています。近年は大型の鉢花として出回るようになってきました。温室管理など条件さえ整えば一年を通して咲きますが、一般家庭では春から夏にかけて開花します。

### ……………失敗しない管理のコツ……………

10月以降は室内に取り込む必要があるものの、寒さには比較的強いので最低温度が5℃以上の気温を保てる場所であれば越冬させることができます。また、霜の心配がない6月から9月の生育期間は戸外の日なたで育てた方が良く、日光が足りないと新しい葉っぱが生えなくなります。

①水の与え方……………根は水を貯められる構造になっているので乾燥には比較的強いですが、生長期に水不足になると葉の先が茶色く枯れるので、土の表面が白っぽく乾いたら鉢底から流れ出るほどたっぷりと水を与えるのが基本です。冬は水の要求量が低下するので土の表面が乾いて2～3日おいてから水やりします。湿度が低下する冬期間は霧吹きで葉に水を吹きかける葉水をすると色ツヤが保てます。

②肥料の与え方……………生長が盛んな5～9月の間は、水代わりに液体肥料を2週間に1回与え、固形の緩行性化成肥料を2か月に1回株元に与えます。生育が低下している冬季間に肥料は与えません。

③植え替えや株分け……………生育が旺盛で、根がすぐ鉢内いっぱいになる事から2年に1回、6～7月にひとまわり大きな鉢に植え替えして育ちやすい環境を整えてやりします。植え替える前には水やりを控えて土を乾燥させてから行うのが作業のコツです。また、大きくなった株は植え替えるタイミングで、根ごと茎葉を切り分けて株分けするようにします。切り分けて株分けしたストレリチアを植え直した後は、水をたっぷりやり普段通りの管理をしてかまいません。新しい芽が出てきたら、土に活着した証拠です。

## 展示室の植物 (80)

### マンゴー

学名: Mangifera indica

ウルシ科 マンゴー属

今年6月にマンゴーの花が咲きました。ビタミンA・C、βカロテン、葉酸などが豊富に含まれ、世界三大美果の1つと云われるマンゴーは、紀元前からインドで栽培・利用され、仏教では「聖なる樹」として大切にされてきたそうです。日本でも南西諸島や小笠原諸島で栽培されていますが、鹿児島県の農業試験場から「マンゴーの出蕾・開花には乾燥と低温が必要。新梢が早期に充実した枝に花が咲きやすい」ことが研究報告され、後に北海道内でも栽培されるようになりました。自宅で栽培している方もいますが、未熟な実ほどかぶれやすいので注意しましょう。花が咲いてから3～4か月で実は熟していきます。写真:マンゴーの実 7/14

